

### 米のとぎ汁を使う意味

米のとぎ汁の中には、たんぱく質・脂質・リン等、たくさんの栄養が含まれています。EMは増える時に「エサ」が必要で、米のとぎ汁に含まれている栄養分はEMのエサとなります。

よって、米のとぎ汁を使用した場合、糖蜜ではなく、砂糖+自然塩でも作ることができます。しかし、水で活性液を作る際には栄養分が不十分なので必ず糖蜜を使いましょう。

水を汚す大きな原因のひとつの米のとぎ汁500mlを流した場合、魚が棲める水質にするには、1200ℓ(バスタブ4杯)もの水が必要になってきます。(環境省「生活排水読本」より)

水の汚染源になってしまう米のとぎ汁を有効活用して、地球も喜ぶライフスタイルを!

#### ●EM活性液

EMを水と糖蜜で培養したもの。



#### ●EM米のとぎ汁発酵液

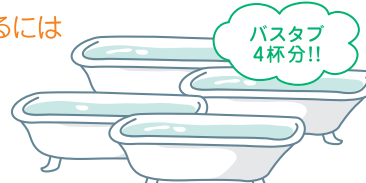
EMを米のとぎ汁と糖蜜で培養したもの。



#### ●水をキレイにするには



とぎ汁 500ml



水 1200ℓ

バスタブ4杯分!!

### その2

## EMを使おう!!

作った液は、おうちの中での臭いや汚れに大活躍!!

#### 希釈液のつくりかた

500mlペットボトルの水に、キャップ(容量は7ml)約1杯分のEMで約100倍の希釈液になります。



※キャップを使用した場合、洗って拭いてからボトルに戻しましょう。

#### 部屋のお掃除に

カーペット・畳・ガラス・床・カーテンなど (100倍希釈)

すがすがしい空気になり、イヤな臭いが消えます。ダニ予防にも効果的。ガラスの拭き掃除は2度拭きがいらず簡単。床のフローリングの汚れもきれいになります。



#### キッチンに

電子レンジ・ガスレンジ・流し・換気扇など (50~100倍希釈)

食器棚や冷蔵庫、流し下の収納庫の中にスプレーでシュッとひと吹き。まな板や食器、レンジの汚れもスッパリ落ちます。イヤな臭いもとれてキッチンはいつもピカピカに。



#### お風呂に

- 入浴時に(原液 約50cc)
- 排水口・壁など(100倍希釈)

入浴時に入れると湯あたりがやわらかくなり、からだの芯まで温まります。お掃除に使うと湯アカの汚れが落ちやすく、臭いやカビの発生を抑えます。



#### User's Voice (お客様のご利用例・体験)

ペットに。100倍希釈。ミニチュアダックスを2匹飼っています。そして、その子達のシャンプーにEM米のとぎ汁発酵液の100倍液を使っています。毛がサラサラになり、なんだか猫の様な感じです。あと、耳そうじ、ブラッシングにも使用しています。(ネット投稿より)



小1になった息子が赤ちゃんの時はずっと布おむつで過ごしていました。布おむつをつけ置きしておくときに、EM活性液をバケツに少し入れておきました。いやな臭いもないし、ヨゴれも落ちやすく楽ちんでしたヨ。是非布おむつ派の方々、やってみてくださいネ。(P.N. R.K)



# EM生活実践講座 VOL.1



### その1

## EMを増やそう!!

EMは生きてる微生物です。エサとなる糖蜜を加えれば活性化し、増やすことができます。

### 用意するもの

#### EM1

EM1は、乳酸菌、酵母、光合成細菌を天然材料で複合培養したものです。



プラス



#### 糖蜜

EMを培養する際にエサとなる糖蜜には糖とミネラル等微量元素が豊富に入っているため、安定した培養ができます。



プラス

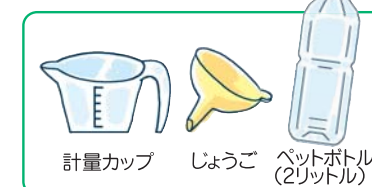


#### 水

又は



#### 米のとぎ汁



計量カップ しょうご ペットボトル(2リットル)

### 「EMの増やし方」 EMを培養すれば、色々使えて環境も良くなる。



1.

ペットボトル(2リットル)に半分位新鮮な米のとぎ汁または水を入れ、糖蜜を40cc(全体量の2%)加えてよく溶かします。糖蜜が溶けたら、EM1を40cc入れてよく混ぜます。

2.

ペットボトルの肩の位置まで新鮮な米のとぎ汁または水を加えます。

3.

しっかりフタをして暖かい場所に置きます。

4.

2~3日後、ガスが発生してきたらフタをゆるめてガスを抜いてください。

5.

夏場は一週間、冬場は10日~2週間程度で完成します。EM1と似た甘酸っぱい発酵臭がしたら完成です。

糖蜜は溶けにくいのでよく振って溶かしてね。お湯を使うのがおすすめ

容器が膨らんできたらガス抜きを合図。中身が吹き出さないように少しずつゆるめてね。



底の白い沈殿物は液肥として使いましょう! 下の沈殿物にはEMがいっぱい。500倍に薄めて花や野菜などの液肥にしましょう。



他にもこんな使い方が!

EM生活のホームページにも掲載されています。TOPページ「EM生活実践講座」からダウンロードできます。

ホームページ <http://www.em-seikatsu.co.jp>